

10. マルチプロジェクト研究機構の活動

マルチプロジェクト研究機構では、令和3年度は9つの研究所が設置許可され活動している。各研究所の活動内容は以下の表に示した。

これまで、所長が任命され次第、所長ミーティングを開催し、当該年度の各研究所の活動について共有する会議を開催してきたが、令和3年度はコロナ禍ということもあり開催実績はない。

令和3年度、研究所として事業委託を受託したものは2件(本年度より設置された公共経営研究所)である。

また、プロジェクト研究機構の活動について広報誌『公益大ニュース』に掲載し、地域や保護者、後援会企業に発信している。

令和3年度 プロジェクト研究所の活動計画

研究所名	研究代表者	学内研究員	主な活動内容
地域共創・人材育成研究所	武田真理子	神田直弥 日比眞一	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創コーディネーター養成プログラムの6年間の評価・まとめ及び改善点の分析 ・スクールソーシャルワーカーの育成方法に関する研究 ・社会福祉士養成課程受講生を対象とした「自己調整学習支援プログラム」の実践・評価 ・公益学部における地域共創・人材育成の方法に関する研究
庄内地域デザイン研究所	温井亨	矢野英裕	<ul style="list-style-type: none"> ・「内川リバーサイドフォーラム」を共催
とびしま未来研究所	呉尚浩	澤邊みさ子 新名阿津子 小関久恵 樋口恵佳	<ul style="list-style-type: none"> ・「第3次山形県循環型社会形成推進計画」のアクションプランづくりのための研究・提案 ・「山形県海岸漂着物対策推進協議会」などにおいて提案 ・次期山形県離島振興計画策定に係る研究調査の準備作業 ・日本財団助成研究として「山形県陸域部における散乱ごみモニタリング体制の構築と削減対策の検討」プロジェクトに参加、調査実施 ・地域共創センター主催・共創カフェ「若者が発信する『海ごみゼロ』の文化～中高大生による”私たちの取り組みと提案”～」 ・日本島嶼学会 2021 年次気仙沼大島大会にて報告 ・第7回東北ジオパーク学術研究者会議にオンライン参加 ・地区防災計画学会第8回大会にオンライン参加 ・とびしま未来協議会に参加 ・PJ型応用演習

研究所名	研究代表者	学内研究員	主な活動内容
ニュージーランド 研究所	武田真理子	澤邊みさ子 斉藤徹史 遠山茂樹 バンティング・ ティモシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランドに関する研究員の専門分野ごとの調査及び研究の実施 ・酒田市及び「東京オリンピック・パラリンピック酒田市ホストタウン推進協議会」への事業協力 ・酒田光陵高等学校ビジネス流通科 2 年生・課題研究への協力・指導 ・ニュージーランドに関する他大学・他機関研究者、実務家、マスコミ等からの問い合わせ・取材への対応 ・ニュージーランド・ワイカト大学・日本語学科の授業運営への協力
地域イノベーション 研究所	斉藤徹史	樋口恵佳	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥建設との共同研究に関する研究会の開催
文化財デジタル化 研究所	広瀬雄二	神田直弥 渡辺暁雄 小関久恵 三浦彰人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創センター、ブランディング部会と連携した活動展開
新生企業戦略研究 センター	ジハン・ シャザダ・ ナヤール	スルトノフ・ ミルゾサイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトを更新し、活動に関する情報発信
インターネット 望遠鏡プロジェクト 研究所	山本裕樹	樋口恵佳	<ul style="list-style-type: none"> ・「ITP 課題バンク」の完成に向けた作業 ・「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2021」に出展 ・「第 11 回慶應義塾大学インターネット望遠鏡プロジェクト・シンポジウム」をオンライン開催 ・東海大学インターネット望遠鏡の修繕 ・インターネット望遠鏡プロジェクト運営委員会をオンラインで 6 回開催
公共経営研究所	三木潤一	神田直弥 小野英一 白旗希実子 樋口恵佳 灰谷和代 新名阿津子 小野敦	<ul style="list-style-type: none"> ・遊佐町および酒田市の総合計画の政策の有効性について住民アンケートの分析、検証を行い、政策について提言